



井口 武雄

三井住友海上火災保険
シニアアドバイザー



スポーツとともに

先日のFIFA女子ワールドカップの決勝戦では、多くの人
がテレビの前にくぎ付けになりました。誰もが願った優勝は
残念ながらありませんでしたが、試合が終わった後に爽快
感が残りました。スポーツの持つ価値を選手全員が発揮して
くれたからだと思います。

観たり応援したりする人にとってのスポーツの価値は、プ
レーにおける「限界への挑戦」「公正さ」「明るさ」、そして
「最後まで諦めない不屈の心」を感じるにより、感動・感
激・連帯感が生まれることではないでしょうか。

三井住友海上には、このような価値を会社に加えるため

に、三つのスポーツ部があります。

一つ目の写真は、2011年の世
界柔道選手権パリ大会で金メダル
を獲得した女子柔道部の中村美里
選手などを祝福して、担当役員等
と社内で撮ったものです。



女子柔道部の中村美里選手(世界柔道選手権パリ大会金メダル、前列左)

二つ目の写真は、女子陸上競技
部の渋井陽子選手が、2004年の
ベルリンマラソンで2時間19分
41秒(当時日本最高記録)の好タ
イムで優勝し、報告に来てくれた
時のものです。渋井選手のすごい
オーラに圧倒されて、私は恥ずか
しそうにしています。



女子陸上競技部の渋井陽子選手(ベルリンマラソン優勝)

柔道部は1989年に住友海上が、
陸上部は1991年に三井海上が創設
し、去年はトライアスロン部を創
設しました。これらの部員を社
員・代理店4,600人が会費を払っ
て運営する「ガッテンダース」と
いう組織が常時応援しています。

2001年に三井住友海上が創立
された直後、新会社の社員・代理店で応援した国内の大きな
大会で、柔道と陸上の両部が優勝し、一気に社員の融和が進
みました。

柔道部員は週四日各3時間、陸上部員は週三日各2時間、
所属するそれぞれの職場で会社の仕事をしています。また、
選手生活を終えた後も一般社員として、会社生活に入ること
を歓迎しています。